

IPv6アドレスポリシー 経過報告と今後について

The 2nd JPNIC Open Policy Meeting

チェア: 伊藤公祐

IPv6普及・高度化推進協議会

IP検討委員会副査



パネル

- 荒野高志氏株式会社インテック・ネットコア、IP検討委員
- 猪俣彰浩氏 富士通株式会社、IPv6オペレーション研究会
- 奥谷 泉氏JPNIC IP事業部



内容:

- 新IPv6アドレスポリシー(解説)
 - 荒野氏
- 新IPv6ポリシーの適用に伴う手続きの変更につ いて
 - 奥谷氏
- 新ポリシーへのISPから見た疑問と課題
 - 猪俣氏
- レジストリから見た課題
 - 奥谷氏
- ディスカッション
 - APNICに提案していくべき内容の決定 PV6 Pvon



総括(今後)

APNICレベルで解決を求めたいもの

- 割り振り対象・特殊ケース(ISP以外)
 - iDC、世界的大企業、特殊利用ネット
 - トランジットプロバイダ
 - 同一企業内の独立ネット
 - <u>*ガイドラインの設定を求める?</u>
- 逆引き
 - IPv6で逆引き設定は複雑、家電の登録は無理 *このプロセスは本当に必要なのか?



今後

続き...

- 2年後の計画
 - 200サイト以上の計画の見極め方
 - *根拠となる必要資料のガイドラインはあるべきか?
- NIRの役割
 - JPNICに求められるもの
 - *プロセス的にOne-stop・母国語サービスを求める?